

街路樹・公園樹 維持管理計画（概要版）

1. 対象施設

施設の役割

- ✓ 都市景観を形成するとともに、市民生活に憩いや潤いを与えるなど、都市の価値を高め、市民生活を支える重要な都市インフラ
- ✓ 気候変動や異常気象の顕在化、災害の激甚化・頻発化等の状況も踏まえ、街路樹・公園樹が、都市の安全性や快適性の確保などにおいて担う役割は、さらに重要となっている
- ✓ 植栽後、時間が経過し、根上がりや樹勢不良等の街路樹・公園樹の生長に伴う課題が顕在化する中、植栽環境にあわせた適切な維持管理が必要

計画対象施設

- ✓ 建設局管理の街路樹（道路延長約800km）・公園樹（993公園）（令和8年3月時点）



街路樹



公園樹

2. 計画期間

- ✓ 2026（令和8）年度から、2035（令和17）年度までの10年間

3. 維持管理方針

基本方針

- ✓ 街路樹や公園樹は、安全性を確保しつつ、CO2吸収や景観形成などの樹木がもつ機能を最大限に発揮できるよう、健全で活力ある樹木の育成を目的とした予防保全型の管理を実施します。

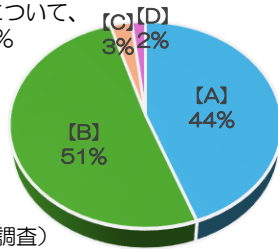
対策の優先順位

- ✓ 点検結果をもとに、道路通行や公園利用上の安全安心を確保することを最優先に、適切かつ効率的な維持管理を実施します。特に、街路樹は、建築限界などを踏まえた道路通行の安全確保を、公園樹は、公園利用者の安全確保に加え、民地や道路に接する公園外周部の安全確保に配慮します。
- ✓ また、樹木がもつ機能や効用を最大限に発揮できるよう、計画的に適時適切な剪定を実施するなど、健全な樹木の保全育成に取り組みます。

4. 施設の状態

- ✓ 街路樹・公園樹の状態等については、定期的な点検等により把握
- ✓ 健全度調査を実施した公園樹（高木）について、健全又は健全に近い樹木の割合は約95%

※街路樹は、令和7（2025）年度に調査を実施したため、集計結果がまともな次第反映



（令和6年度公園樹健全度調査）

ランク	評価基準
A	全体的に健全である。
B	全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。
C	全体的に劣化が進行している。
D	全体的に顕著な劣化である。

出典：公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改訂版】
（令和7年3月 国土交通省都市局）

5. 対策内容と実施時期

- ✓ 定期的な点検により樹木の生育状況等を的確に把握したうえで、植栽環境に応じた剪定・更新等を行うことで、健全で活力ある街路樹・公園樹を保全育成

内容	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
点検		公園樹・樹木点検・診断	街路樹・樹木点検・診断		公園樹・樹木点検・診断	街路樹・樹木点検・診断		公園樹・樹木点検・診断	街路樹・樹木点検・診断	
剪定										
更新・配置の適正化										

6. 対策費用

- ✓ 計画期間内における対策費用の見込み：街路樹（平均：約14億円/年）、公園樹（平均：約11億円/年）
- ✓ 街路樹・公園樹のような植物は、構造物を中心とした他のインフラ施設とは異なり、樹木の健全な育成を目的として必要な管理を適切に行うことで、樹木がもつCO₂吸収や景観形成といった機能が発揮され、ひいては最も適切なコストでの管理につながるもの